くらしの困り事　解決事例紹介⑳

エコールで対応した困り事の事例をご紹介いたします。

『リハビリ』と『住環境』の重要性

脳出血で入院されたU様。
一時は植物状態になる危険性もある状態でしたが、
ご本人の強い意志で『リハビリ』を行い、
退院時には、ご自身で杖を突いて歩ける状態にまで回復。
これから在宅生活を送る為に『住環境』を整えます。

U 様（男性）60代
要介護3
家族と同居

Before & After

【自立した生活】を実現するための住環境整備

ケアマネジャー、リハビリ、建築士、福祉用具専門相談員、住環境コーディネーターなどの意見、
ご本人、ご家族様の想いを協議し、自立した生活が送れる住環境を整える為、
福祉用具（特殊寝台）の導入、ご自宅全体のリフォーム（介護保険の住宅改修工事含む）を行います。

住環境整備のポイント

POINT

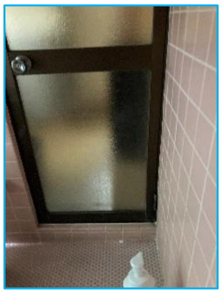
【 浴室 ～ 洗面所 】

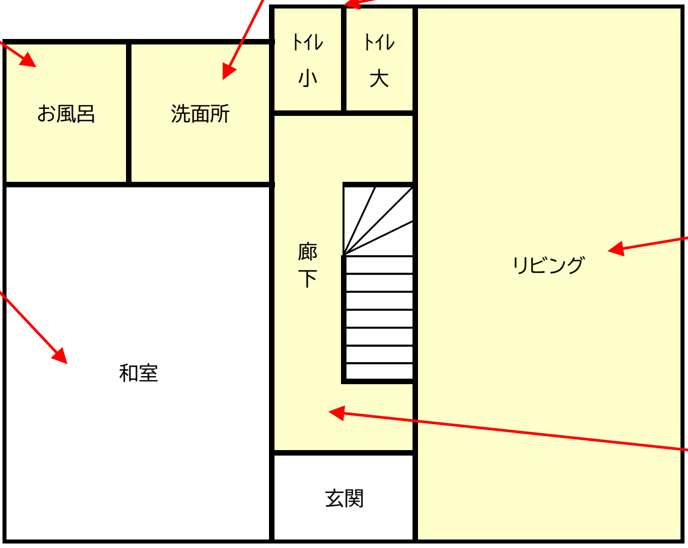
浴室入口の段差、浴槽のまたぎ、タイル床の滑りやすさ、
ヒートショック対策、洗面所の手すりがない　など

POINT

【 トイレ 】

大・小と部屋が分かれており、
スペースと和便器などの改善





POINT

【廊下～リビング】

床が滑りやすい、
手すりがなく危険　など

POINT

【特殊寝台納品】

寝室（和室）にベッドを納品し、
布団→ベッドへ変更。

【浴室】

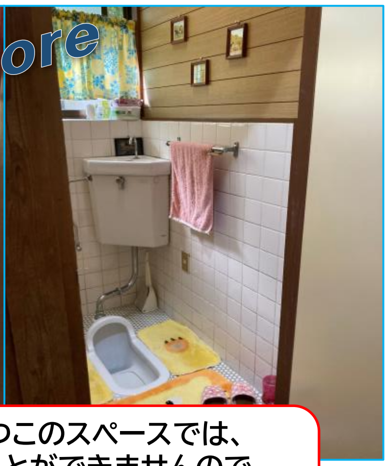
タイル風呂は冷えやすい、滑りやすいと
非常に危険でした。

にぎりやすく、手すりの役割を果たします

出入口の段差のせいでU様は入浴ができませんでした。

ユニットバスにする事で、気密性も上がり、
ヒートショック対策も万全です。
生活動線内がバリアフリー環境になり、
退院時には、お風呂やトイレには介助が
必要との事でしたが、ご本人の強い意志による
『リハビリ』と『安心･安全な住環境の整備』に
より、介助なしで生活されています。

【トイレ】



和便器且つこのスペースでは、
用を足すことができませんので
大･小と2部屋に分かれていたトイレを
1部屋にリフォームしました。

手すりを設置し、扉も開き戸⇒引き戸へ

【廊下】

廊下の床が滑りやすく転倒リスクが
高かったので、滑りにくい
フローリングを貼り、手すりも設置しました。

リハビリの一環として自らで廊下やリビング
で前進、後進運動をしたり、
庭の水やりなどされています。

ECOL enta みなさまの「くらし」をサポートいたします

日本基準寝具株式会社　エコール事業部　エンタリビングサポート

お気軽にお問い合わせください
（フリーダイヤル、メール）

0120-89-4567

メールでの
お問い合わせ